

会 議 録

審議会等の名称	令和元年第8回教育委員会（定例会）
開催日時	令和元年6月28日（金）14：00～14：32
開催場所	山口市役所別館1階第2会議室
公開・部分公開の区分	公開
出席者	藤本教育長、宮原委員、佐々木委員、横山委員、竹内委員、佐藤委員、山本委員
欠席者	
事務局	藤本教育部長、吉村教育部次長、中村教育総務課長、伊藤教育施設管理課長、重枝学校教育課長、佐内社会教育課長、磯部文化財保護課長、藤井中央図書館長、伊藤教育総務課主幹、岡本教育総務課副主幹
付議案件	報告事項 （1）令和元年6月定例市議会における一般質問及び教育民生委員会の概況報告の対応状況について
	<p>藤本教育長 ただいまから、令和元年第8回教育委員会定例会を開会いたします。本日の会議録の署名は、佐藤委員さんと宮原委員さんをお願いいたします。</p> <p> 本日は、報告事項1件となっております。公開・非公開を確認する議案等はありませんので、順番どおり始めたいと思います。</p> <p> それでは、報告第1号の「令和元年6月定例市議会における一般質問及び教育民生委員会の概況報告の対応状況について」、事務局から説明をお願いします。</p> <p>藤本教育部長 それでは、報告第1号の令和元年6月定例市議会における一般質問及び教育民生委員会の概況報告の対応状況について御報告いたします。</p> <p> 議案は1ページでございますが、議案参考資料②に基づいて御説明申し上げます。1ページ目をお開きください。</p> <p> このたびの一般質問につきましては、3人の議員さんから6項目の質問が出ております。</p> <p> まず、西村議員から、イ、教育についてということで、①教員の働き方、②小学校高学年教科担任制について。</p> <p> 続いて、2ページをお開きください。9番、村上議員でございます。ア、骨髄バンクについてのうち、②学校現場における取り組み。ウ、案内看板について、①わかりやすさ、②安全対策について。</p> <p> 4ページに移りまして、湊議員のウ、子どもや高齢者を守る安全対策についてのうち、②児童生徒の命を守る対策についてでございます。</p> <p> それでは、質問の要旨と答弁について、御報告いたします。</p>

5 ページ、西村芳和議員でございます。教育についてということで、①教職員の働き方改革について、公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドラインにある「臨時的な特別の事情」について、例としていじめ対応等が示されたが、本市においてはどのように対応していくのか伺う。②の小学校高学年の教科担任制について、現状について伺う。また、小規模校の対応についても併せて伺うということでございます。

これは、教育長が答弁をいたしております。

答弁内容は、6 ページからでございます。

教員の働き方について、教員に対しましては、これまでの働き方を見直し、自らの授業を磨き、人間性や創造性を高め、効果的な教育活動を行う、学校における教員の働き方改革が進められております。

文部科学省におかれましては、働き方改革の総合的な方策の一環といたしまして、平成31年1月25日に「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」を策定され、超過勤務時間の上限の目安として1ヶ月で45時間以内、1年間で360時間以内とされたところでございます。次のページに移りまして、なお、「臨時的な特別の事情」がある場合については、1ヶ月で100時間以内、1年間で720時間以内とされております。これに基づきまして、今後、県及び市教育委員会はそれぞれ「公立学校の教師の勤務時間の上限に関する方針等」を策定することが求められております。

学校においては、授業の準備や部活動指導の時間に加え、いじめや不登校、校内での会議、児童生徒や保護者への対応等が必要でございます。

教育委員会といたしましては、このような場合は、これまでも申し上げておりますように、いじめ速報カード等により対応をいたしているところでございます。8 ページに移りまして、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等とも連携しながら早期解決を図り、教員の負担軽減に努めているところでございます。

今後策定いたします本市の方針等につきましては、いじめ事案への対応等一時的又は突発的なものについて、「特例的な扱い」の「臨時的な特別の事情」として対応していくこととしております。

次に、小学校高学年教科担任制について、小学校では1人の教員による「学級担任制」が一般的でございます。個に応じたきめ細かな指導ができるといったメリットがございます。一方、「教科担任制」は、専門の教員が指導するものでございまして、本年4月に文部科学省は、中央教育審議会に対して諮問を行ったところでございます。

県教育委員会においては、1学年が複数学級ある小学校において学級担任が授業を交換し、複数の学級を指導する「授業交換」を推奨しているところでございます。

この「授業交換」は、複数の教員による多面的な児童理解が進むこと

や、教材研究の充実が図られるなどのメリットが確認されております。

本市における「授業交換」については、平成30年度実績で申しますと、市内小学校33校中、年間を通じて2教科程度行っている小学校が15校、教科書の内容によるものが11校、学期・月などによるものが3校ございます。

これらに加え、算数、理科、音楽、外国語などを専科教員が行ったり、少人数担当教員が授業を行ったりしている小学校もございます。

小規模校におきましては、学級数が限られていますことから、高学年に限らず「授業交換」を行っている学校が7校、5年生と6年生の担任が音楽、家庭科と体育で交換を行っている学校が3校ございます。

加えて、教頭による授業やサポート、非常勤講師、市の補助教員の配置により、教職員の負担軽減につながるよう取り組んでおります。

今後、小学校の教科担任制については、国や県の動向を注視しながら取組を進めてまいりたいと考えております。

次に、村上議員の骨髄バンクについての内、学校現場における取り組みということで、11ページの下でございますが、白血病・骨髄移植を通して命の尊さを学ぶ機会は、大切な時間になると考えている。教育現場におけるこれまでの状況と今後、白血病・骨髄移植に対して、当事者の講演などを含む学ぶ機会を設けてはどうかという御質問でございます。

これは、私から答弁をさせていただいております。答弁内容は13ページでございます。

児童生徒が「生命の尊さ」を学ぶことは、お互いを思いやり、自己を肯定する重要な取り組みであり、主に道德教育を柱として取り組んでおります。「特別の教科 道德」の時間をはじめ、理科・保健体育・家庭科、学級活動や総合的な学習の時間等で行っているところでございます。

また、臓器移植や献血につきましては、中学校の道德の教科書の活用、山口県赤十字血液センター発行の献血読本の中学校への配付、推進ポスターや作文等の募集などにより、意識の醸成や相互扶助の精神を学んでおります。

白血病や骨髄移植を通じた「生命の尊さ」を学ぶ機会につきましては、具体的な事例そのものを取りあげた授業は行っておりません。14ページに移ります。日本赤十字社主催による講演会や出前授業、公益財団法人日本骨髄バンク主催の移植経験者・提供ドナーによる「語りべ」派遣事業等を活用されている学校が全国にございます。

こうしたことから、従前の取り組みに加えまして、事例についての調査研究を進め、実情に応じて、教職員はもとより、児童生徒の発達の段階に応じた学習機会の創出に取り組んでまいりたいと考えております。

引き続き、村上議員ですが、案内看板について、①分かりやすさ、②安全対策でございます。これも私が答弁をさせていただいております。

①の分かりやすさにつきましては、市内に設置された案内看板については、わかりにくい場合があるということで、具体例として、宮野にある宮野温泉山口ふれあい館も同様であり、温泉施設であることがアピールできていない。外国語表記の考え方を含め、わかりやすさに対する取組として、山口ふれあい館に関する所見を伺う。

次に②の安全対策について。看板には、小中学校や幼稚園などが近くにあることをアピールするという視点的な効果がございます。湯田小学校前に位置し、交通量の多い一本松朝倉線は、スピードダウンが図られていない現状がある。横断歩道があることをアピールできるように安全対策の側面をもつ看板を設置してはどうかという御質問でございます。

答弁内容でございます。案内看板の「わかりやすさ」につきましては、当該施設を所管する部署において、案内誘導にふさわしい内容となるよう調整の上、設置しております。

地理に不慣れな方が、たどり着けない、あるいは通り過ぎてしまうという御意見もございまして、わかりやすい案内表示とすることは、大変重要であると認識いたしております。また、設置後においても周辺環境の変化などにより、適宜見直しをしていく必要がございます。

このような中、山口ふれあい館の既設の案内看板は、温泉機能を備えた施設であるということは、わからない状況でございます。施設が持つ機能と表示内容が一致することで、有効なアピール手段になるものと認識いたしております。

このようなことから、山口ふれあい館の案内看板につきましては、外国語表記を含め、温泉施設としても内外にPRするようリニューアルに向けて取り組んでまいりたいと考えております。

次に、安全対策でございます。

通学路などの学校周辺の交通安全対策といたしましては、学校や幼稚園が近くにあることを示す警戒標識や学校等の近くにございます横断歩道の指示標識の設置をはじめ、「スクールゾーンやゾーン30」の設定、「徐行、スピード落とせ、歩行者注意」等の道路上の表示などにより、運転者に対し注意喚起が図られております。

また、PTAや地域の皆様の自発的な活動による交通安全の立哨や横断歩道の誘導等により、安全な通学に御協力をいただいております。こうした成果が実り、先般開催されました山口市交通安全対策協議会において、県内同様、山口警察署・山口南警察署管内では、近年、人身事故が減少しているという報告がされております。

しかしながら、全国的には、子どもたちを巻き込んだ悲惨な交通事故が連日のように報道されております。また、山口市内の学校周辺の道路事情をみますと、御案内の湯田小学校など交通量が多い幹線道路のすぐ近くにある学校もございまして。

教育委員会では、平成26年度に山口市通学路交通安全プログラムを設定いたしまして、通学路の点検などの情報を基に、必要に応じて関係機関と合同点検を行い、関係部局をはじめ、警察、道路管理者等で構成する「山口市通学路等安全対策連絡会議」において、情報を共有し、安全対策を検討・実施しております。

学校の位置を示す看板の設置につきましては、先ほど申しあげました警戒標識等とともに、子どもたちの安全対策について、何が有効なのか協議検討してまいりたいと考えておりますという答弁をさせていただいております。

次に湊議員でございます。子どもや高齢者を守る安全対策についての内、②の児童生徒の命を守る対策でございます。他県では子ども達を巻き込んだ悲惨な交通死亡事故が相次いでいる。被害を回避するためには児童生徒の安全意識の更なる向上を目指すことが重要であり、危険予測に関する安全教育を益々充実させていく必要があると思うが如何か。また、南海トラフ地震等に対しまして、教育委員会として各学校にどのような指導をされ、防災教育を充実されるつもりなのかという御質問でございます。

答弁内容は、23ページからでございます。

近年では、交通事故や事件に加え、大地震やゲリラ豪雨などの自然災害が多発しまして、児童生徒の生命や安全を確保するための課題は多岐にわたっております。

このようなことから、学校安全教育を総合的かつ効果的に推進する必要があります。学校では、交通安全教育に取り組んでおり、警察等の関係機関と連携した通学路の安全点検や交通移動教室、児童生徒が自ら自分たちの通学路の安全を調査・確認し、通学路安全マップをまとめております。また、教職員や保護者、地域の皆様の交通安全に対する意識の向上を図ることが重要でございますことから、KYT「危険予測トレーニング」を参観日に実施いたしております。

また、川崎市での痛ましい事案の発生後、直ちに、スクールバス・タクシーの運行事業者に対し、乗降時の目配りや声かけ等の配慮についても依頼するとともに、各学校に対し、地域の見守り活動の更なる充実を指導いたしております。

また、地震等を含めた防災教育につきましては、小・中学校の理科や社会、中学校の保健体育の授業などにおいて、地域の自然環境、自然災害発生メカニズム、過去の災害について児童生徒が学習する機会を確保しております。また、専門家を招いての防災教室、地域や隣接する学校・幼稚園等との合同避難訓練、保護者への引き渡し訓練、児童生徒に日時を告げずに行う避難訓練等を実施し、KYT学習も交えながら防災対応能力を育てております。

児童生徒が自らの命を自ら守ることのできる力を一層育むために、KYT「危険予測トレーニング」や、考え行動する活動に積極的に取り組んでおり、今後も危機管理マニュアルの見直しについて、学校への指導・支援に努めてまいり所存でございますという答弁をさせていただいております。以上が一般質問質疑の内容でございます。

次に、26ページからでございますが、教育民生委員会における教育委員会事務局としての概況報告について報告いたします。

まず、1点目でございますが、来年に行われます第72回全国都市教育長協議会総会並びに研究大会の開催について御報告をいたしております。

令和2年5月21日、22日の2日間、本市において協議会が開催されます。これは毎年5月に開催されるものでございまして、山口大会は山口市民会館を主会場とし、教育に関する議論や意見交換を行う予定でございます。本市が事務局となりまして、県内13市の教育長で構成する実行委員会を立ち上げ、準備を進めているところでございます。

全国から約600名の参加を見込んでおりまして、本大会の成功はもとより、本市を全国にPRする絶好の機会でもございますことから、しっかりと取組んでまいり所存でございます。

次のページに移りまして、小学校運動会及び中学校体育祭における暑さ対策についてでございます。

運動会等につきましては、秋口の開催が通常でございましたが、昨年は大変暑かったということ、また、近年の残暑等もありますことから、その暑さ対策の一環として春に運動会を開催する学校もございます。

今年度につきましては、5月19日の佐山小学校をかわきりに、6月1日までに11校の小学校で運動会を開催いたしております。

また、開催時の暑さ対策といたしまして、30分から1時間おきに、子どもや教員、保護者に対しまして給水を促す「ごくごくタイム」という時間を設けたり、昨年度に配置いたしました「ミストシャワー」を活用して体温を下げる工夫をしたりするなど、種々の対策を講じたところでございます。

教育委員会といたしましては、学校との連絡を密にし、秋に開催される運動会等の暑さ対策はもとより、日頃からも子どもたちの体調管理に目を配りながら、成長を支えてまいり所存でございます。

次に、28ページに移りまして、天皇陛下御即位奉祝事業における文化関連施設の無料公開についてでございます。

教育委員会におきましては、山口市歴史民俗資料館及び鑄銭司郷土館の2館において実施いたしまして、5月1日から6日までの無料公開期間中に、それぞれ405名、348名の方々に御来館をいただいたところでございます。

	<p>最後に、大内氏遺跡指定60周年記念事業についてでございます。</p> <p>史跡大内氏遺跡は、昭和34年に国の史跡に指定され、今年で60周年を迎えますことから、年間を通じた記念事業を展開することとしております。</p> <p>まず、4月には、吉敷地区において史跡凌雲寺跡を目指した文化財散歩を開催いたし、43名の方々に御参加いただきました。また、5月26日は、アメリカ在住の研究者トーマス・コンラン氏をお招きし、講演会を開催しましたところ、300名の方々に御参加いただき、両事業ともに好評を博しております。</p> <p>今後も、歴史民俗資料館での特別企画展や史跡めぐりのバスツアー、特別講演会などとともに、市の交流創造部とタイアップした事業を展開し、史跡大内氏遺跡をしっかりとPRしてまいりたいと存じますという概況報告をさせていただいたところでございます。</p> <p>以上でございます。</p>
藤本教育長	<p>報告第1号につきまして、意見や質問等はございませんか。</p> <p>山本委員さん。</p>
山本委員	<p>教科担任制についてお伺いします。教科担任制は、私が教員であった頃に中心校校長連絡協議会において、県から実施の通知がなされたところですが、偶数学級がある学年であれば、2人の教員が授業を交換することができるのですが、3学級あった場合には、3学級が同時に交換するということはできません。日課表作成ソフトを活用して試行錯誤をしたことがあるのですが、そのころの教員は、なぜここまでしなければならぬのか。そんなことをしなくても学級担任は子どもたちのことを一番よく知っているのだから、それに越したことはないという意識が強くて、改善することができなかつたのですけれども、現在の教員の意識は、変わってきているのではないかと思うのですが、そのあたりの状況を教えてください。</p>
藤本教育長	<p>重枝学校教育課長。</p>
重枝学校教育課長	<p>教科担任制の現状と先生方の意識についてでございますが、小学校の学級担任の意識といたしましては、自分の学級を自分で見たいという想いはございます。ただ、複数学級を複数の教員で見ること、児童の理解につながる、もしくは、ひとつの教材を2学級で行うことができるということで、自分たちの授業力を高める取り組みにもつながる。また、国語と算数を交換すれば、いままでは2教科の教材研究をしなければならなかったところが、国語を教材研究して、2回活用することができるというような良い面と難しい面が小学校の教員の中にはあろうかと思えます。</p> <p>一方で、少しずつではございますが、メリットについての理解も進んできておりまして、そのことに対してかたくなに否定的な言葉を発する</p>

	<p>ような教員はおりません。また、3クラスの難しさについては、例えば、1学期は1組と2組が国語と算数を交換し、2学期は2組と3組が、3学期は1組と3組が交換するというような工夫をされているという状況でございます。</p>
	<p>山本委員 ありがとうございました。</p>
	<p>藤本教育長 報告第1号につきまして、意見や質問等はございませんか。 以上で、本日の付議案件につきましては終了いたしました。 次回の定例会は、こちらの第2会議室で、7月24日水曜日の午後2時からの予定でございます。よろしく願いいたします。 以上をもちまして、令和元年第8回教育委員会定例会を閉会いたします。</p>
署名	<p>上記のとおり相違ありません。 令和元年6月28日</p> <p style="text-align: right;">教育長 _____</p> <p style="text-align: right;">署名者 _____</p> <p style="text-align: right;">署名者 _____</p> <p style="text-align: right;">会議録調製 _____</p>